

シリーズ
「私たちの思い」

東北地方太平洋沖地震が発生した平成23年3月11日、高校2年生だった私は、報道される津波や福島第一原子力発電所の事故の様子を、現実のこととは思えない気持ちで見っていました。その時、ふいに頭をよぎったのは中越沖地震のこと。もし、あの時大きな津波が来ていたら、柏崎刈羽原子力発電所もあのような事態になっていたのではないかと思い、とても他人事ではありませんでした。

それから数年が経ち、私が大学3年生の時、土壌や水などのサンプルを採取し、どれだけの放射性物質が含まれてい

るかを調べる研究に携わりました。放射線は目に見えず匂いもないため、その場にどの程度あるのかわからない。また、放射線量が示されていても安全なのかどうかかわからず、不安を感じている方も多いと思います。わからないものに対する恐怖心はどうすれば解消されるのか。当時の研究室で様々な議論を重ねましたが、単純明快な答えは見つかりませんでした。しかし、私は多くの人たちに安心していただくためには、確かな専門知識を持った者が責任を持って管理し、誰にでもわかりやすい情報発信をすることが大切なのではないかと思い、自分の知識を活かせる原子力発電所で仕事をしたいと考えようになりました。

昨年、私は東京電力に入社し、希望していた柏崎刈羽原子力発電所に配属されました。現在は、発電所や周辺の土壌や水、空気、野菜や魚などのサンプルを

採取し、放射性物質を測定・監視することや、測定機器の点検を行う業務に携わっています。きちんと作業工程を理解し、問題がない数値であっても、見落としがないかなど、複数の目で様々な観点から確認しています。測定結果はホームページや県との評価会議などで、定期的に報告を行っていますが、誰にでもわかりやすい情報発信という点では、まだまだ課題があると感じています。私たち一人ひとりが現状に対して、常に疑問を持ち、ひた向きに改善を重ねることが、結果として皆さまの安心に繋がればという思いで、これからも業務に取り組んでいきます。

宮重 侑生 (みやしげ ゆうき)

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
原子力安全センター
放射線安全部 放射線安全グループ
平成28年入社 柏崎市出身

責任を持って監視することで
皆さまの安心に繋がりたい



所属は平成29年10月取材時のものです

昨日より今日、今日より明日。私たちは、より高い安全レベルを目指し挑戦を続けます。

シリーズ「私たちの思い」は、WEBでもご覧いただけます。

TEPCO 新潟本社  <http://www.tepco.co.jp/niiyata/index-j.html>



東京電力ホールディングス 新潟本社
025-283-7461
9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始除く)

TEPCO